

患者さまを中心として、質の高かつ安全な医療を提供します。



ホームケア係って… 何をしているの？

『総合相談部ホームケア係』の仕事…

- ・医師に退院って言われたけど、何を準備したらいいか分からない
- ・退院後、訪問看護を利用したい
- ・通院は難しいから、往診してくれる先生はいるのかしら？
- ・寝たきりで床ずれがあり、どうやって介護したらいいか分からない
- ・呼吸器や酸素、吸引に点滴、胃瘻があるけど、家で介護できるのかしら
- ・ベッドや車いすなどの介護用品はどうやって準備したらいいの？



などで、お困りの場合…

- ・外来通院の患者さまは、外来担当医にご相談下さい
- ・入院中の患者さまは、担当医か病棟の看護師までご相談下さい



ホームケア係へ医師から相談の依頼票が届きます。

その後、事前に予約を取り、患者さまやご家族の方と面接をして具体的な退院支援を行っていきます。

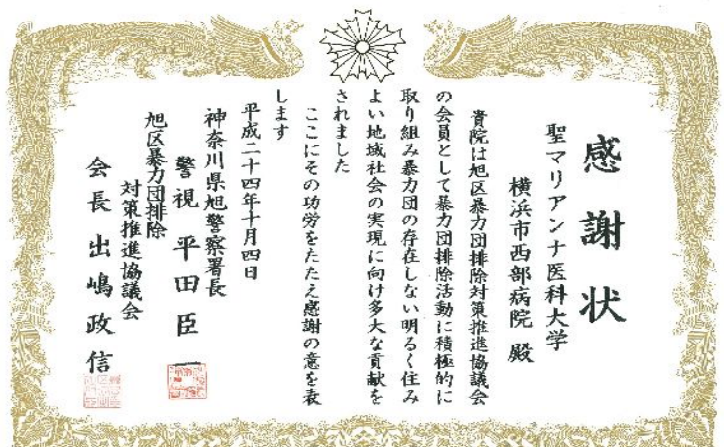


『安心して家で暮らしたい』

をホームケア係の看護師が応援します！

感謝状の授与について

先日、旭区暴力団排除対策推進協議会から、当院に対して感謝状が授与されました。これからは患者さまが安全な環境のもと、安心して治療に専念できるよう、務めてまいります。



救急の日のイベントを実施しました



残暑厳しい9月9日(日)、救急の日のイベントとして、三ツ境駅前の広場でAED体験、心肺蘇生法などを実施しました。

このイベントは、平成20年から4年間、病院の敷地内で行っていましたが、今年は、より多くの方に体験していただくため、駅前へ進出して実施致しました。当院からは、救命救急センターの榊井センター長をはじめ、救命救急センターや病棟などの看護師、また事務職など総勢30名が参加、それに加えて、今年



や制服姿の瀬谷消防署の方々も参加され、一緒にイベントを盛り上げて下さいました。

当日の参加者は100名余で、昨年は参加がなかった20歳以下の方が28名(全体の27%)も参加されました。部活帰りの少年達が、興味津々に心肺蘇生法やAED操作に取り組んでいる姿は、次代を担う若者としての頼もしさを感じさせてくれるもので、大変うれしく思いました。

このイベントは、メディアにも取り上げていただき、横浜ケーブルビジョンや、タウンニュース(9月20日付旭区版、瀬谷区版)にも掲載されました。

講演会、市民公開講座等を開催します

次の表の通り、当院医師・職員が講演会、市民公開講座等の講師を行います。入場は無料です。どうぞお気軽にお出かけ下さい。詳細は、院内掲示のポスター、チラシ、当院ホームページ等でご確認下さい(ご不明な点は、総合相談部 地域医療連携係へお問い合わせ下さい)。



昨年の様子

タイトル	日時	場所	講師・案内役等	定員・申込等
関節リウマチの新しい診断と治療	10月20日 (土)14:00～	旭区サンハート (二俣川駅隣接ビル5階)	リウマチ・膠原病内科山前副部長ほか	定員300人 当日先着順
西部病院腎臓病教室	10月27日 (土)14:00～	西部病院3階講堂	腎臓高血圧内科島副部長、栄養部吉田係長(管理栄養士)ほか	定員50名 当日先着順
C型肝炎・肝硬変の最新の治療	10月27日 (土)14:30～	瀬谷公会堂(瀬谷区役所1階)	消化器内科佐藤部長、石井主任医長 ほか	定員400人 当日先着順
第12回横浜西部子ども健康フォーラム	11月24日 (土)14:00～	西部病院3階講堂	小児科瀧部長 ほか	定員100人 事前申込み必要 TEL:0120-446-870
脳卒中最前線	12月23日 (日)13:30～	瀬谷公会堂(瀬谷区役所1階)	脳神経外科 榊原副部長、ばんどうクリニック 板東院長、オカダ外科医院 岡田院長ほか	定員400人 当日先着順



発行：聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
いこいの森編集委員会